新たな九州の感動拠点へ

あけましておめでとうございます。

今年三月、吉野ヶ里歴史公園は「体感する」歴史公園へとさらに進化します。新たな九州の感動拠点の誕生です。

時は弥生時代。九州に米作りが伝わりここ吉野ヶ里にも小さな「ムラ」ができました。それがいつしか大きな「クニ」へと発展し、歳月を経てもとの山河へと還るまで。

吉野ヶ里遺跡は二千年の時を越えて、その時代の人々の営みを見ることができる日本唯一の場所です。

あの吉野ヶ里フィーバーから三十年を過ぎてなお、新発見が相次ぐこの遺跡の「本物」の価値を。知る人ぞ知る新たな感動をより多くの方に。官民連携により誕生する「スノーピーク グラウンズ 吉野ヶ里」は、歴史公園としては日本初の、泊まれる体験型複合施設です。

朝もやに浮かび上がる弥生の集落は、今までに見たことのない景色。さがデザインの視点でこの唯一無二の遺跡に新たな角度から光を当てていきます。

これからも挑戦を続け、一緒に未来をつくっていきましょう。

佐賀県知事　山口祥義（やまぐち よしのり）

特集
吉野ヶ里遺跡 これまでの歩み

約2000年前、弥生時代に栄えた日本最大級の環壕集落・吉野ヶ里遺跡。1986年の発掘開始以来、次々と明らかになる発見が、日本の古代史を塗り替えてきました。

遺跡に残る多くの謎は、私たちと同じ時間を過ごしながら今もなお眠り続けています。「当時どうだったのか」想像する楽しさを味わいながら、古代のロマンに思いを馳せてみませんか。

1986　本格的な発掘調査がスタート

多数の甕棺墓（かめかんぼ）や全長400mにもおよぶ壕で囲まれた大規模な環壕集落が発見されるなど、弥生時代最大級の遺跡として全国的に注目される。

＼全国を席巻した吉野ヶ里フィーバー！／

1989　魏志倭人伝の記述と符合　弥生時代最大の墳丘墓（ふんきゅうぼ）確認

有柄細形銅剣（ゆうへいほそがたどうけん）など、貴重な副葬品が出土。3か月で100万人が来場し、社会現象に。

1991　国の特別史跡に指定

特別史跡は全国で約46万か所ある遺跡のうち、わずか65か所しかない「遺跡の国宝」に指定される。

2001　吉野ヶ里歴史公園開園

建物や柵列の復元が進み、当時の環壕集落の姿を体感できる史跡公園として整備される。

2022　「謎のエリア」発掘調査開始

＼「謎のエリア」で新発見！ レプリカも公開中！／

2023　石蓋（せんこく）に線刻のある石棺墓（せっかんぼ）が出土

遠く多良岳から運ばれた石材、無数に刻まれた線刻など当時の有力者の墓として話題を集めるが、その人物像はまだ謎に包まれている。

2026

“見る”歴史公園から、“体感する”歴史公園へ。新たな姿へと生まれ変わります。
「スノーピーク グラウンズ 吉野ヶ里」
2026年3月 ついにOPEN

遺跡を壊さずに“弥生時代と同じ場所”に復元！

竪穴住居や物見やぐらは、同じ場所に建てられていることを知っていますか？ 遺構を傷つけないように、30㎝以上の盛り土をした上に復元しています。約2000年前もこんな風景だったかもしれませんね。